

第52号

理工学研究科
理工学専攻
地球生命環境科学プログラム
修士1年
静岡県立掛川西高等学校
(静岡県)



自然豊かな地で虫を捕って飼う幼少期

幼稚園に通っている頃から、家の周りの虫を捕まえて家で飼っていました。カブトムシ、バッタ、カマキリ、カタツムリ、ザリガニ、トカゲ…。自然豊かな場所だったので、捕獲して観察することが楽しみでした。

部活漬けの日々から受験モードに

高校1、2年の間はバスケットボール部の活動に時間を費やしていました。コロナもあり、高校3年生に進級すると同時に部活動を引退することになりました。進路について考えたとき、幼少期から好きだった生物を真剣に学びたいと考えました。1、2年やってこなかった分も必死で勉強し、国立大学で生物を学べるところに行こうと考えました。浪人することは考えず、早く好きな学問を学びたい！という気持ちでいっぱいでした。

わくわくするフィールドワークの機会

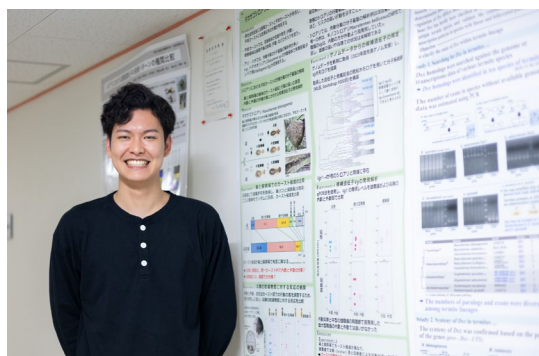
大学に入学し、フィールドワークの豊富さがとても良かったです。大学の学生寮の近くには山があり、様々な虫が近くに生息しています。そこでライトトラップという、灯りをつけて寄ってきた虫を採る作業をします。大学に持ち帰って標本にし、学名まで調べてひと段落とするフィールドワークが一番印象的でした。今は研究室でTA（ティーチングアシスタント）として、毎年後輩のライトトラップのフィールドワークに参加しています。

元から興味のあったアリの行動の研究

フィールドワークのある授業では、虫の観察もあれば、立山に登って高山植物を採取して観察することもあります。実際に触れてみて、植物よりも動物を研究したいと思いました。中学1年生から高校3年生までアリの飼って観察していました。餌をあげたときにどんな動きをするのか、アリの生態を観察するのが好きでした。シロアリを研究している前川清人先生の研究室に所属し、一緒に研究を進めることになりました。

結果に結びついた研究成果

学部4年生の時に、2泊3日で石垣島に行き、そこに生息するタカサゴシロアリの研究を始めました。アリとハチでは、役割による個体間の違いが遺伝的に解明されています。シロアリの分業については明かされていません。まだわからない生態を明かしていくことに面白みを感じていました。2025年12月7、8日に開催された令和6年度日本動物学会中部支部大会で「タカサゴシロアリの不妊カーストにおける労働分業の行動観察と関連遺伝子の発現解析」について発表をしました。最優秀ポスター発表賞を受賞することが出来ました。



国際学会での発表を目指し勉強中

来年は国際学会での発表を目標にしており、研究に加え英語の勉強も頑張っています。今年の夏から就職活動もあるので、忙しくなりますが頑張ります！